

# 東京風景

— 風景がまちを活かす —



## 背景 一機能を失う構造物が、風景を活かす装置となる—

技術の進歩や整備の進行とともにその機能を失う構造物は多い。1960年代に歩行者の保護と渋滞回避の目的の下多く整備された歩道橋もその一つで、利用者の減少と横断歩道整備の進行に伴い歩道橋はその数を大きく減らし、現在も撤去の動きが進んでいる。交通機能のみに着目すれば、撤去の動きは妥当なものである。



横断歩道が整備され、使われなくなった歩道橋

しかし、歩道橋が私たちにもたらしたものは交通上の利便性のみではない。アイレベルとも称称ともつかない視点場と道路の抜けは、立体歩道橋で見ることのできない独特の風景を作り出してきた。

交通施策としての機能を失っても、魅力ある風景を最大限活かす視点場を作るための装置として歩道橋が価値をもつのではない。

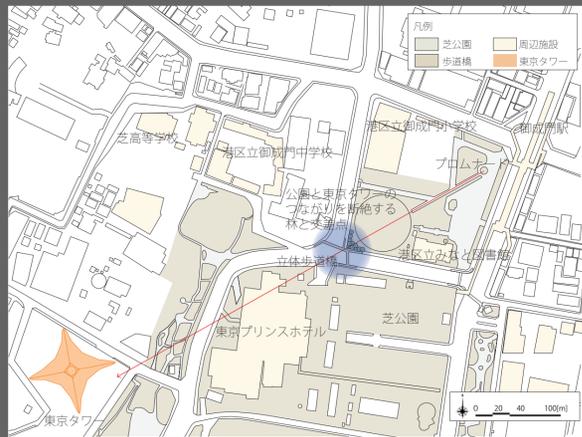
そして、最大限活かされた風景は、商業の拠点や施設以上に、地域に対する影響力を持つのではない。

最大限引き出された風景の力によって、ばらばらに散らばった地域の魅力を集め、活力を取り戻すことを提案する。



歩道橋から見る風景

## 対象地 一風景を遮る歩道橋—



東京タワーにほど近い芝公園には、東京タワーに向かってまっすぐのびるプロムナードが用意されている。しかし、まっすぐに進んだ先は樹木と立体歩道橋によって東京タワーへの視界が遮られる。周囲には小学校や図書館といった公共施設やホテルが囲んでいるが、公園や東京タワーとは無関係になっている。また、歩道橋はほとんど使われていない。



プロムナードが切り取東京タワーの風景



木々と歩道橋が行く手を阻む



プロムナードと東京タワーを遮る木々

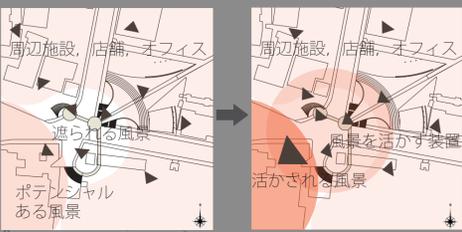


ほとんど利用されることがない歩道橋

## コンセプト 一活かされた風景の力が地域の求心力となる—

東京タワーへの視界を遮っていた歩道橋を、風景を活かす装置として設計し直すことでポテンシャルある東京タワーの風景を強化する。

活かされた風景は、求心力を持ち、ばらばらであった周辺施設をつなぐ。



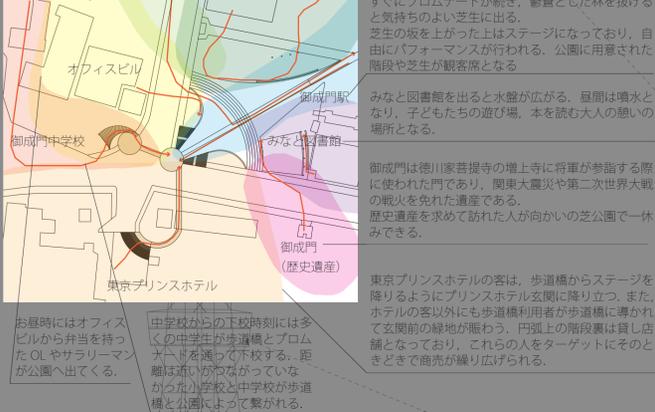
ポテンシャルある風景が活かされ、周辺施設もばらばらの方向を向く。

## 提案 一周辺施設からの動線の交点として、東京タワーを臨む公園と一体の歩道橋を設計する—

交差点で途切れていた周辺施設の動線をつなぐ歩道橋の設計を、芝公園と一体で行う。周辺施設の利用者が歩道橋と公園を利用する中で、日常的に各動線が交わり、新しい出会いや交流が生まれる。また、日常に東京タワーの風景が溶け込み、人々が同じ風景を共有するようになる。

御成門からプロムナードを進むと、まずはビルや水面に映り込む東京タワーを間接的に、林を抜けると歩道橋越しに、歩道橋の上には到達すると直接、と階段を登って東京タワーの風景を楽しむことができる。

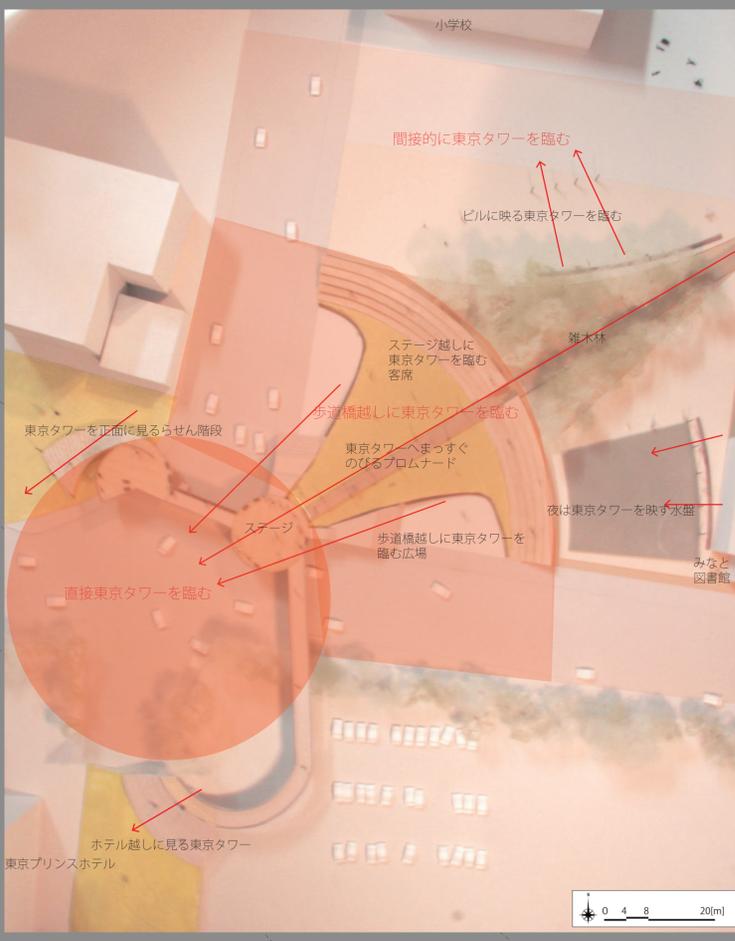
2020年東京オリンピックのときは、最も東京らしい風景として人気の観光スポットとなる。



お昼時はオフィスビルから弁当を持ったOLやサラリーマンが公園へ出てくる。由里から下校時刻には多くの中学生が歩道橋とプロムナードを渡る。距離は近いがつながっていないから小学校と中学校が歩道橋と公園によって繋がる。

参詣した人が一息つきに訪れる。小学校の校庭からつながる公園は小学生の放課後の遊び場となる。御成門駅の地上出口を出ると公園へ誘うようにまっすぐにプロムナードが続き、鬱蒼とした林を抜けると気持ちのよい芝生が出る。芝生の坂を上った上はステージになっており、自由にパフォーマンスが行われる。公園に用意された階段や芝生が観客席となる。みなと図書館を出ると水盤が広がる。昼間は噴水となり、子どもたちの遊び場、本を読む大人の憩いの場所となる。御成門は徳川家菩提寺の増上寺に将軍が参詣する際に使われた門であり、関東大震災や第二次世界大戦の戦火を免れた遺産である。歴史遺産を求めて訪れた人が向かいの芝公園で一休みできる。東京プリンスホテルの客は、歩道橋からステージを降りるようにプリンスホテル玄関に降り立つ。また、ホテルの客以外にも歩道橋利用者が歩道橋に導かれて玄関前の緑地が賑わう。円弧上の階段裏は貸し店舗となっており、これらの人をターゲットにそのときどきで商売が盛り上げられる。

## 設計 一風景を活かす—



間接的に東京タワーを臨む

ビルに映る東京タワーを臨む

ステージ越しに東京タワーを臨む

東京タワーへまっすぐのびるプロムナード

夜は東京タワーを映す水盤

歩道橋越しに東京タワーを臨む広場

直接東京タワーを臨む

ホテル越しに見る東京タワー

小学校

東京プリンスホテル

0 4 8 20m



東京プリンスホテルからの歩道橋と公園の風景



らせん階段を降りると真正面に東京タワーがそびえる



林を抜けると視界が開け東京タワーが視界に現れる



東京タワーへの期待感とともにまっすぐのぼる坂道と東京タワーをバックとしたステージ



図書館側から見た歩道橋の風景



直接は東京タワーを臨めない場所には、ビルに映る東京タワーを見る人が集う



小学校側から見た歩道橋の風景



昼間は図書館や小学校の子どもが遊べる噴水であり、夜は水盤となって東京タワーを映す

## 断面



東京タワーから歩道橋と芝公園を臨む

歩道橋がプリンスホテルへのゲートにもなる

御成門小学校

0 50 100 200m

東京タワーを臨むスポットに風景を切り取る電灯を設置

ビルに映る東京タワーを臨む

歩道橋から東京タワーを臨む

歩道橋の構造越しに東京タワーを臨む

水盤に映る東京タワーを臨む

みなと図書館

東京風景 一風景がまちを活かす—